

科目名		演習Ⅰ（生涯学習論）	
担当教員	永井健夫	科目区分	演習
開講区分	通年	単位数	4単位
曜日時限	火曜・2時限	開講年次	1年
到達目標	修士論文で取り組む基本テーマを確定し、解明すべき具体的な論点を明らかにする。		
授業概要	生涯教育・生涯学習の考え方は、伝統的な教育制度や社会システムが複雑な現代的状況に十分に対応できないことへの危機感を背景に生成・発展してきた。ゆえに生涯学習には、教育、社会、文化のオルタナティブな在り方を探る試みという側面がある。この点を踏まえるなら、「生涯学習論」としての考察・探究に取り組むという場合、その題材は必ずしも狭い意味での「教育」である必要はなく、現代人が生活し社会・文化を営むことに関わる事象・現象であれば何でもよい。必要なことは、注目する問題が人々の生き方や社会・文化にとってどのような意味があり、その問題に対して諸個人や社会の制度・組織がどう対処すべきかについて関心を持つことである。この演習の履修者は、そうした問題関心を深めることに努めてほしい。		
授業計画			
回数	内容		
第1回	演習の進め方に関する協議と修士論文の意義についての説明		
第2回	現在の問題関心の確認と意見交換		
第3回	関連文献を素材とした論文執筆方法の理解①		
第4回	関連文献を素材とした論文執筆方法の理解②		
第5回	関連文献を素材とした論文執筆方法の理解③		
第6回	修論計画発表会に向けた2年生の取り組みから学ぶ①		
第7回	修論計画発表会に向けた2年生の取り組みから学ぶ②		
第8回	関連文献の読解と意見交換①		
第9回	関連文献の読解と意見交換②		
第10回	関連文献の読解と意見交換③		
第11回	関連文献の読解と意見交換④		
第12回	関連文献の読解と意見交換⑤		
第13回	関連文献の読解と意見交換⑥		
第14回	執筆テーマに関連する視聴覚資料の検討と意見交換①		
第15回	夏季休暇と後期に向けての課題の確認		
第16回	研究・調査の進捗状況についての報告		
第17回	関連文献の読解と意見交換⑦		
第18回	関連文献の読解と意見交換⑧		
第19回	関連文献の読解と意見交換⑨		
第20回	関連文献の読解と意見交換⑩		
第21回	関連文献の読解と意見交換⑪		
第22回	関連文献の読解と意見交換⑫		
第23回	修士論文の構想についての報告と意見交換①		
第24回	修士論文の構想についての報告と意見交換②		
第25回	関連文献の読解と意見交換⑬		
第26回	関連文献の読解と意見交換⑭		
第27回	関連文献の読解と意見交換⑮		
第28回	執筆テーマに関連する視聴覚資料の検討と意見交換②		
第29回	研究成果の報告と意見交換①		
第30回	研究成果の報告と意見交換②		
準備学習等 (課題・予習・復習・調査等)	指定された文献・資料について予め精読しておくこと。		

評価方法・基準 ・講評の方法	事前準備の状況(30%)、意見交換における質疑の水準(30%)、まとめのレポートの達成度(40%)などをもとに評価する。 講評は演習の中で、適宜、行なう。
テキスト・参考書	必要に応じ、適宜、指示する。
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	従来どおり、履修者の問題関心を尊重することに努める。
学生への メッセージ	自分が本当に興味・関心を持っていることは何か、常に意識しながら取り組んでほしい。
授業に参考と なるサイト	
関連する画像	
その他・備考	